

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は、底堅く推移しており、住宅投資は増加している。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 持ち直し

2月の公共工事請負金額は、独立行政法人等の発注は減少したものの、国、都道府県などが増加したため、全体では7か月連続で前年を上回った（前年比5.2倍）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
山形県	▲41.3	▲0.3	33.4	96.6	78.7	5.2倍

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 増加

1月の建築着工床面積（民間非居住用）は、教育・学習支援、医療・福祉などは減少したものの、製造業、卸・小売などが増加したため、全体では4か月連続で前年の水準を上回った（前年比12.3%）。12月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業を中心に下方修正された（前年度比26.1%<前回調査比修正率▲7.2%>）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
山形県	47.5	2.7倍	▲57.9	2.2倍	47.1	12.3

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2016年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
全産業	19.7	▲9.8	26.1<▲7.2>
製造業	37.0	▲22.3	45.8<▲1.7>
非製造業	▲2.0	12.1	2.1<▲15.4>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

1月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では8か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲0.8%）。

家電販売は、パソコン関連などが減少していることから、前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 4~6月	7~9月	10~12月	2016年 11月	12月	2017年 1月
全店	0.2	1.9	2.7	2.4	1.6	▲1.9
既存店	0.3	1.9	2.8	2.1	2.5	▲0.8

〈資料〉経済産業省

2月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、5か月連続で前年の水準を上回った（前年比5.0%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
乗用車 (含む軽)	▲8.9	▲2.4	▲2.0	18.6	4.3	5.0
乗用車 (除く軽)	▲5.7	10.3	2.8	16.3	6.9	8.3

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・基調としては増加

1月の新設住宅着工戸数は、持家は増加したものの、貸家、分譲は減少したため、全体では4か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲26.6%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
山形県	6.0	▲6.1	▲7.6	0.0	6.2	▲26.6
持家	▲25.9	▲9.2	▲6.7	▲5.2	30.1	6.7
貸家	2.2倍	34.1	▲8.1	▲3.9	▲14.6	▲47.7
分譲	88.0	▲45.7	▲11.8	32.3	23.3	▲54.0

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、2か月ぶりに低下した(前月比▲2.3%)。業種別には、電子部品・デバイス、輸送用機械など13業種は上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、化学など9業種は低下した。

12月の在庫指数(季節調整済)は、2か月ぶりに上昇した(前月比1.3%)。

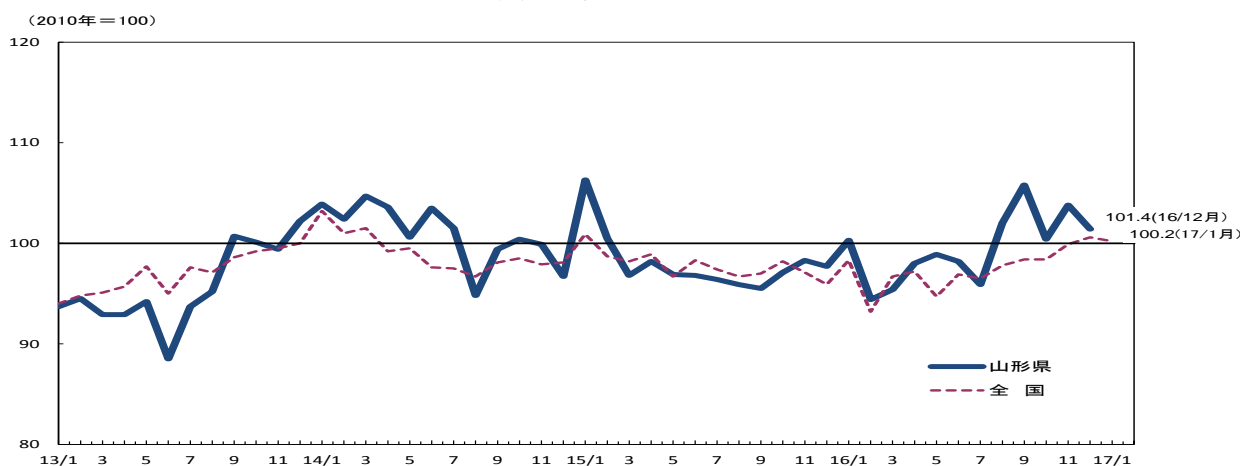
(図表7) 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
生 産	季節調整済前月比%	1.1	▲0.7	3.7	▲5.1	r 3.4	p ▲2.3
	原指数前年比%	▲1.1	0.5	11.5	2.5	r 6.6	p 2.8
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	▲2.8	▲1.5	2.6	▲0.8	p 1.3
	原指数前年比%	3.3	▲3.3	▲1.4	▲1.1	0.4	p 1.8

<資料> 山形県企画振興部

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移



<資料> 経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・改善

1月の有効求人倍率は、1.42倍となった。業種別には、製造業、建設等の新規求人は増加したものの、サービス、医療・福祉などは減少した。1月の雇用保険受給者は、9か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲4.5%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、<>内は前年比

山形県	2016年 4~6月	7~9月	10~12月	2016年 11月	12月	2017年 1月
有効求人倍率	r 1.30	r 1.31	r 1.38	r 1.36	r 1.42	1.42
有効求職者数	<▲6.0>	<▲6.2>	<▲4.7>	<▲2.2>	<▲4.7>	<▲6.2>
有効求人数	<1.0>	<2.6>	<11.2>	<5.3>	<11.2>	<10.4>
完全失業率	2.8	2.2	1.9	—	—	—
雇用保険受給者	<▲5.6>	<▲6.6>	<▲3.1>	<▲4.6>	<▲3.1>	<▲4.5>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

12月の常用雇用指数は、4か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.8%）。業種別には、卸・小売、建設などは前年の水準を下回ったものの、製造業、医療・福祉などは前年の水準を上回った。

12月の所定外労働時間は、6か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲6.1%）。業種別には、建設、金融・保険などは前年の水準を上回ったものの、製造業、教育・学習支援などは前年の水準を下回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
常用雇用指数	0.5	▲0.2	0.1	0.2	0.5	0.8
所定外労働時間	1.9	3.9	▲3.7	▲4.4	▲4.4	▲6.1

<資料>山形県企画振興部

12月の現金給与総額(名目賃金指数)は、医療・福祉、運輸などは減少したものの、卸・小売、サービスなどは増加したため、概ね前年並みの水準となった(前年比0.1%)。

12月のきまって支給する給与は、18か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲1.4%)。

(図表11) 所得関係指標 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 10月	11月	12月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.2	0.7	0.1	▲3.0	▲1.4	0.1
きまって支給 する給与	▲0.4	▲1.6	▲1.5	▲1.4	▲1.9	▲1.4

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

2月の企業倒産(負債額10百万円以上)は、件数(2件)、負債総額(4.1億円)とも前年(4件、5.9億円)を下回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
件数	9	4	5	2	1	2
負債総額	20.0	3.8	16.9	32.5	0.6	4.1

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

1月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.6%)。費目の内訳をみると、交通・通信、家具・家事用品などは前年を下回ったものの、生鮮食品を除く食料、教養娯楽などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
総合	▲0.5	▲0.6	▲0.6	0.1	0.3	0.8
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲0.5	▲0.6	▲0.4	▲0.1	0.6

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

1月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比0.4%)。

1月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比2.7%)。

この間、1月の貸出金利は低下した(前月比▲0.003%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
実質預金+CD (末残前年比)	1.3	1.2	1.0	0.8	0.9	0.4
貸出金 (末残前年比)	3.6	3.6	3.7	2.9	2.8	2.7

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 4~6月	7~9月	10~12月	2016年 11月	12月	2017年 1月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.038	▲0.020	▲0.015	▲0.005	▲0.006	▲0.003

1月末水準
1.094

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004